

多可町

RMP まちづくり宣言

2025(令和7)年3月



RMPとは

「RMP」とは、地域運営広場(Region Management Plaza)の略語で、多可町発の造語です。プラザは、スペイン語で「人が集まる場」を意味します。

コミュニティプラザと生涯学習まちづくりプラザ「あすみる」をまちづくりのシンボルとして、多様な人が集まり、つながり、活動の輪が広がることで、誰もが活躍できる場や仕組みをつくります。

その輪を町全体に広げていくことで、みんながニコニコ笑って楽しく暮らし続けることができる、持続可能な町になるはずです。

町という大きなプランターに、みんなで種をまき、水をやり、世話をすることで色とりどりの花が咲きほこる。そんな仕組みを「地域運営広場(RMP)」と呼ぶこととします。

新しい地域コミュニティ(RMP)準備委員会

RMP まちづくり宣言

わたしたちは、全ての住民が心おだやかに笑顔で暮らせる町を目指して、地域運営広場「RMP」のまちづくりを宣言します。

RMP は、住民一人ひとりが世代や性別・国籍などを越えてつながり、助け合い、楽しみながら活躍する仕組みです。多様な人材がプラザを拠点に集まり、語らい、それぞれの力を発揮することで、活力ある町をつくりまします。

わたしたちは、RMPで町というプランターに色とりどりの花を咲かせ、希望の花咲きほこる多可町を目指します。

わたしたちは

一、人と人とが笑顔でつながる 「あいさつの花」を咲かせます

人と人、地域と地域など、あらゆる地域資源のつながりを大切にします。
あいさつを交わし、笑顔で語り合うことで、温かく、安心して暮らせるまちをつくりまします。

一、ごちゃまぜで語りあう 「話しあいの花」を咲かせます

みんながごちゃまぜで語りあうことで何かが始まる。
年齢、性別に関係なく、自由に意見が言えて認めあえる町をつくりまします。

一、気に掛けあって支えあう 「助けあいの花」を咲かせます

困った時はお互いさま。
適度な距離で気に掛けあう。
みんなにとって住みやすい、町中まるごとファミリーのあったかい町をつくりまします。

一、知識と経験を分かちあう 「学びあいの花」を咲かせます

みんなが生徒で、みんなが先生。
町全体が教室です。
学びあい、生涯学び続けることができる町をつくりまします。

一、町の魅力を世界に発信 「グローバル*な花」を咲かせます

地域に眠る豊かな資源を掘り起こし、光をあて、多可町ならではの魅力を発信します。
みんなが希望と誇りを持って暮らし続けられる町をつくりまします。

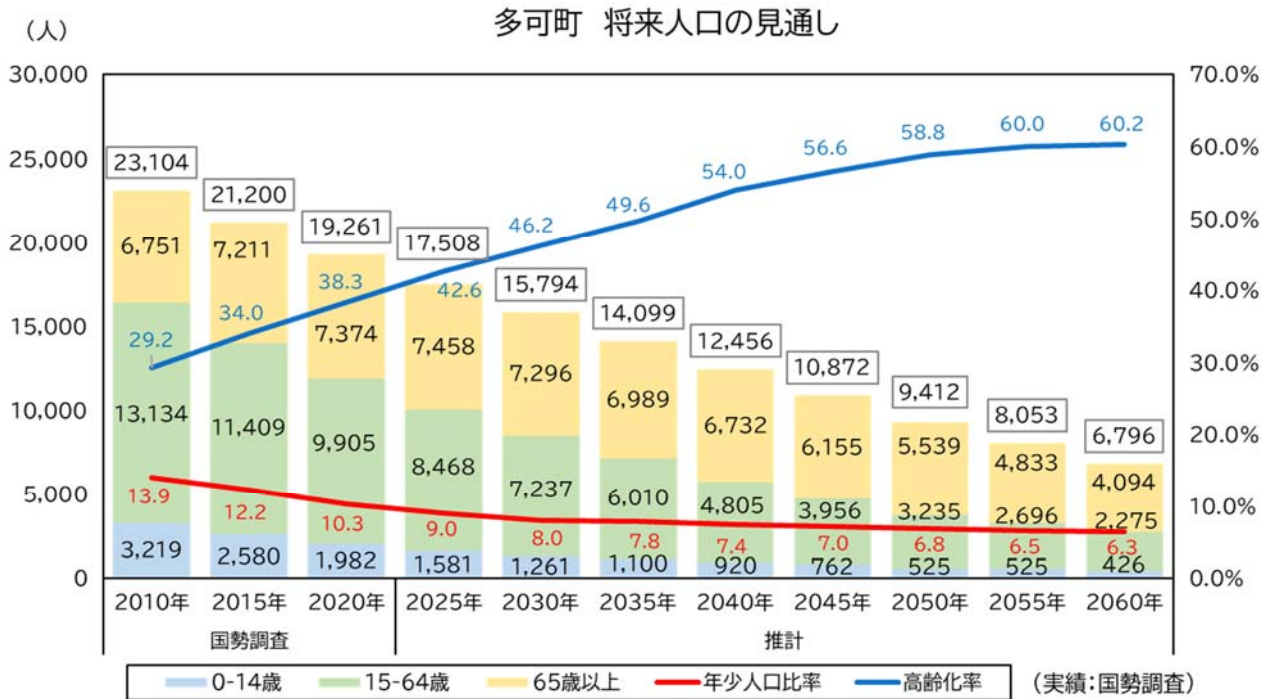
一、みんなが我が事として参加 する「住民自治の花」を咲かせます

活気ある多可町を実現するには、住民一人ひとりの力が必要です。
みんなが主体的に、楽しみながら行動する住民自治の町をつくりまします。

*グローバルとは、グローバル(global)とローカル(local)を合わせた言葉。「地球規模の視野で考え、地域で行動すること」の意味。

背景と経緯

全国的に人口急減・超少子高齢化が進む中、2040年の多可町は、人口約 12,000 人、高齢化率 54%と推計されています。また近年は、集落や地縁団体(消防団、婦人会、シニアクラブなど)からも団体の弱体化や担い手不足の声が聞かれます。



そのような中、多可町でも、全国的に取り組まれている「地域運営組織(RMO)」を基本に、集落を越えた広域コミュニティのあり方についての検討を始めました。

しかしながら、多可町の現状や他市町の状況を見ると、必ずしも新たな「組織」を作ることは得策ではない、との考えに至りました。集落や地縁団体がそれぞれの自治や活動に取り組んでいる中、それらを束ねた新たな「組織」を作ったとしても更なる負担を強いるだけではないか、という懸念です。むしろ、集落や地縁団体が相互に補完し合うこと、またそれらの組織に属していない人材が活躍できる仕組みを作ることの方が有益との考えに至りました。

その方法を探るべく「新しい地域コミュニティ準備委員会」が発足しました。多可町の現状を踏まえながら、コミュニティプラザをどう活用するのか、どうやって人材を発掘するのか、その活躍の場を作るのか。現状持てる地域資源の洗い出しやその活用方法に力点を置いて話し合いを進めました。

「新しい」と名付けましたが、そこで話し合った内容は決して真新しい内容ではありません。むしろ、町全体を「広場(プラザ)」と見立てる考え方や、委員会のプロセス(あて職ではない自主参加者による会であること、その委員会と区長会が共催した 200人参加の「まちじゅう いどばたかいぎ」など)が、これまでにない「新しい」取り組みです。

これからは、この「RMP」と呼ぶ場・仕組みを舞台に、誰もが活躍できる、みんなで作っていく多可町を目指していきます。

地域運営広場(RMP)が目指すこと

わたしたちは、町、区、集落といった地域社会の一員であると同時に、日々の暮らしの中では、それらにとらわれない暮らしの舞台を形成しています。

RMPは、この二つの地図を重ね合わせ、互いに補いあい支えあう「心の地図」を基盤とした持続可能な地域コミュニティをつくります。

誰もが笑顔で暮らせる

希望の花咲きほこる多可町を目指します

